

自己評価報告書

平成23年 4月25日現在

機関番号：13701

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2008 ～ 2011

課題番号：20730551

研究課題名（和文） 小中高一貫の文章表現指導プログラムの開発

研究課題名（英文） A study of cooperative learning on writing for consistently teaching a scaffolding literacy from childhood to adolescence

研究代表者

小林 一貴 (KOBAYASHI KAZUTAKA)

岐阜大学・教育学部・准教授

研究者番号：30345772

研究分野：国語教育学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：

書くことの教育、文章表現指導、ジャンル分析、協同学習、書くことの足場づくり、談話分析、授業分析、作文教育

1. 研究計画の概要

「自立した書き手」の育成に向けてグループ学習を取り入れた授業研究を小・中学校、高等学校で実施し、各校種における指導形態や学習観をふまえながら、児童・生徒にとって一貫性のある文章表現のプログラムを開発することを目的とする。小中高における授業研究とグループ学習の談話を調査、分析し特徴を明らかにするとともに、授業者にとって実現可能な学習指導の展開を授業談話に即して明らかにしていく。

2. 研究の進捗状況

(1) 平成20年度は、書くことの学習指導に関して小中高の教員との協議を行い、教師と児童生徒の人間関係、社会生活と学校生活における話題の共有の度合、学習課題の特徴について整理した。これをふまえ、小学校高学年の書くことの授業の調査、分析を行い、児童の学習場面への参加の構造と役割の変化、ジャンルの選択について分析した。その結果、学習場面における話題、題材に対する書き手としての役割の選択と変化にはミクロな談話と参加構造が関わっていることが明らかになった。成果の一部を論文にまとめ発表した。

(2) 平成21年度は、平成20年度の調査、分析結果に基づいた授業計画、指導案、ならびに教材の案を作成し、岐阜県内の小・中学校、ならびに大学において授業を行った。また、指導方法について授業者と授業の準備段階から指導案と教材案の検討を行い、授業を行った。書くことの「足場づくり(scaffolding)」の談話に即したグループ学習を実施し、題材についての情報交換と学習者による作文の

読み合い・話し合いの段階では、要点の口頭説明、要点についての確認、新たに付加された情報についての説明を求める問いが、学習者にとっての文章を書くための知識を取り出し、構造化する上で有効であることを確認した。問いや確認の発話が書くことの学習の方略として活用可能であることを確認した。授業実践の実際とグループ学習の談話の特徴について口頭発表し、論文にまとめ発表した。

(3) 平成22年度は、平成21年度までに調査、記録してきた小・中学校の書くことの指導におけるグループ学習の談話を中心に分析した。「足場作りの相互作用のサイクル(scaffolding interaction cycle)」における「詳細な読み(Detailed Reading)」のあらわれ方について分析した。その結果、「発表(書き手)」^「発問」^「発表者(書き手)の応答」^「発問」という展開が確認され、「発表者(書き手)の応答」に続く「発問」がグループ内における話題(題材)の共有に関係していることが認められた。成果を口頭発表し、論文にまとめ発表した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

小・中学校、高等学校ならびに大学の授業者と協議を重ね、グループ学習を取り入れた授業を実施し、学習過程の談話に基づく指導の方法について整理してきている。

4. 今後の研究の推進方策

諸般の事情により実施できていなかった高等学校での授業を行い、調査、分析を行う。学習活動の談話と学習者の課題への参加の

特徴を整理し、書くことの学習における題材の認識と表現の構築のプロセスについて校種を貫く

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 11 件)

- ① 小林一貴「表現学習における書くことの現場の具体性 ―ラジオニュースに基づく学習者の作文の分析を通して―」『岐阜国語教育研究』第 8 号, pp. 76-86, 2010 (査読無し)
- ② 小林一貴「談話の相互交渉過程における学習者の書くこと」『グループ・ブリコラージュ紀要』第 27 号, pp. (左) 21-28, 2010 (査読無し)
- ③ 小林一貴・多和田仁「話し合い活動を通じた書き手の課題テキストへの関与」『岐阜大学教育学部研究報告(教育実践研究)』第 12 巻, pp. 13-20, 2010 (査読無し)
- ④ 小林一貴「書くことの「足場づくり」の談話構造」『月刊国語教育研究』No. 465, pp. 50-57, 2011 (査読有)
- ⑤ 小林一貴・遠山健二・井深誠・松永健一郎「話し合い活動による書くことの「足場づくり」の指導」『岐阜大学教育学部研究報告(教育実践研究)』第 13 巻, pp. 1-8, 2011 (査読無し)

〔学会発表〕(計 2 件)

- ① 小林一貴「作文の読み合いと書くことの文脈の変容」日本読書学会, 2009. 8. 6, 筑波大学附属学校教育局
- ② 小林一貴「書くことの「足場づくり」と談話コミュニティ」全国大学国語教育学会, 2010. 5. 30, 東京学芸大学